クイックガイド

C-tune II

聴力データ

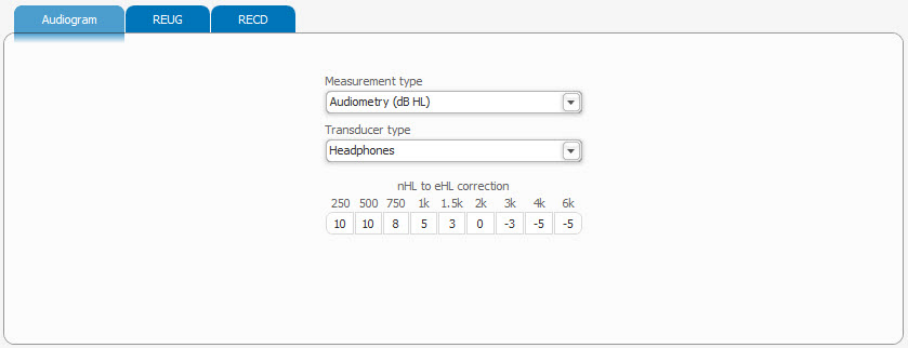
はじめに

このクイックガイドは、C-tune II の聴力データツールについて説明します。「セッションスタート」または「フィッティング」画面に聴力データツールがあります。聴力データツールには、オージオグラムと REUG、RECD に関する簡単な説明があります。

⚠	子供の耳では、平均的な成人よりも音圧がかなり高くなることがあります。RECD を測定して、フィッティングされている OSPL90 のターゲットを補正することが推奨されます。

しかし、このウィンドウでは実際のオージオグラムを測定できません。データベースに接続したオージオグラムモジュールか、スタンドアローンデータベースの「*オージオグラムの入力*」オプションを使用する必要があります。C-tune はそのオージオグラムデータを使用して補聴器フィッティングを計算します。

オージオグラム



オージオグラムタブは画面の下半分に表示されます。このタブでは、ユーザーのオージオグラムを確立する際に使用した聴力状況を登録できます。C-tune が補聴器フィッティングに使用する聴力しきい値を解釈する際に、この状況が考慮されます。このタブには次の選択肢があります。

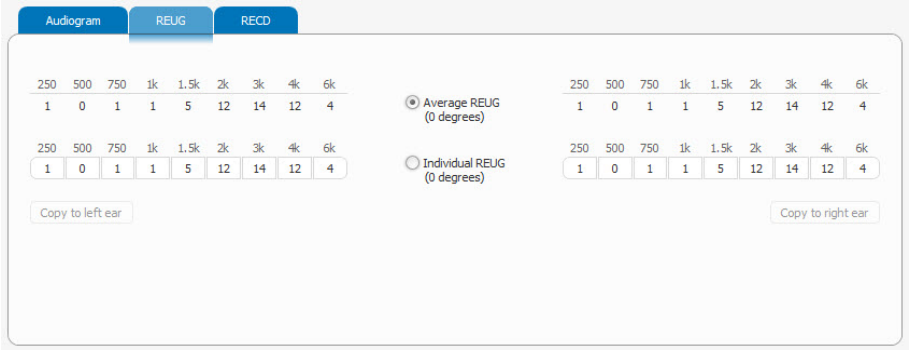
- ドロップダウンリストから「*測定タイプ*」を選択します。行動聴力（聴力データ、dB HL）、dB に標準化された聴力レベルで確立された聴性脳幹反応（ABR、dB nHL）、dB で推定される聴力レベルで確立された聴性脳幹反応や聴性定常反応（ABR/ASSR、dB eHL）から選択できます。

- ドロップダウンリストから「*トランスデューサータイプ*」を選択します。使用可能なトランスデューサーの一覧は、選択した測定タイプによって異なります。*「インサートイヤホンとスポンジ耳栓*」「*インサートイヤホンとイヤモールド*」は常に一覧に表示されます。ただし、測定タイプで聴力測定（dB HL）を選択した場合、さらに「*ヘッドホン*」、「*自由音場（0°）*」、「*自由音場（45°）*」、「*自由音場（90°）*」が追加されます。

- 「測定タイプ」ドロップダウンボックスで ABR（dB nHL）を選択した場合のみ、フィッティングに使用する値を「*nHL*」から「*eHL*」に変換できます。

REUG

「REUG」タブは「オージオグラム」タブの隣にあります。「REUG」タブでは、ユーザーの REUG 測定値を個別に入力できます。C-tune はその個別の REUG 測定値を使用して、補聴器フィッティングを補正します。

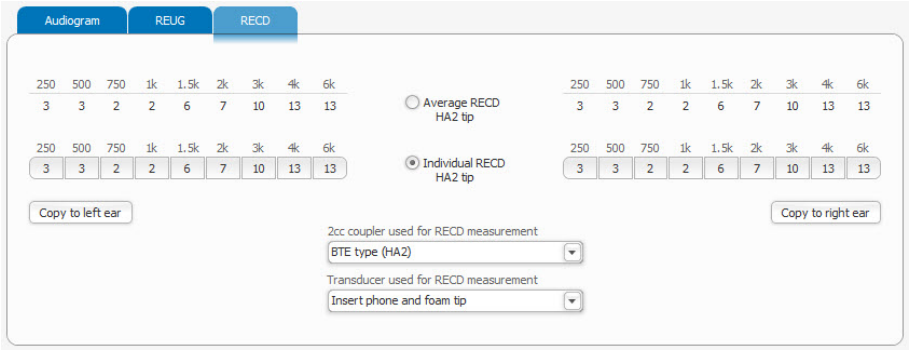


まず、タブの中央にあるラジオボタンで、 REUG 平均値と個別の REUG 測定値のどちらを使用するか選択します。デフォルトは平均値です。

REUG 値は 1dB ごとに変更できます。片側の REUG 値を反対側へコピーする場合は、「*右耳/左耳にコピー*」ボタンを使用します。

RECD

「RECD」タブは、「REUG」タブの隣にあります。「RECD」タブでは、ユーザーの RECD 測定値を個別に入力できます。C-tune はその個別の RECD 測定値を使用して、



補聴器フィッティングを補正します。

まず、タブの中央にあるラジオボタンで、 RECD 平均値と個別の RECD 測定値のどちらを使用するか選択します。デフォルトは平均値です。

個別の RECD 測定値を使う場合、測定に使用した 2cc カプラとトランスデューサータイプをドロップダウンリストから選択します。そして、フィールドに測定値を入力します。

数値は 1dB ごとに変更できます。個別の RECD 測定値を反対側の耳にコピーする場合は、「*右耳/左耳にコピー*」ボタンを使用します。

この文書は、電子データで供給されています。印刷版をご希望の場合は、http://widex.pro/gps-startup-guide で無償で入手できます。配送には 7 営業日ほどかかります。また、文書は http://widex.pro/gps-startup-guide からもダウンロードできます。

Copyright © Coselgi.無断複写・転載を禁じます。

文書バージョン：4.0.発行日：2022 年 5 月